分野	41	市街地	通番 81
施策	411	中心市街地整備の推進	
5年後の目標		歩きやすく、にぎわいのあるコンパクトなまちを目指し、阪急長岡天神駅周辺の将来ビジョンと計画が作成されている。	

概要

P（概要）	実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
		会計	款	項	目		
	阪急長岡天神駅周辺整備事業	一般	8	4	1	35,896,721	まちづくり政策室

事業の概要

まちづくり協議会及び基本計画策定委員会と調整しながら、阪急長岡天神駅周辺整備基本計画を策定します。
また、基本計画に基づく都市計画の変更案を検討し、段階的整備として天神通踏切の拡幅の整備や駅前広場についても検討を行います。

令和元年度の取組

D（取組）

指標	阪急長岡天神駅周辺整備基本計画の策定					単位	—
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	1	2	
まちづくり協議会と検討を開始（平成27年度）	目標	まちづくり協議会への運営支援	まちづくり協議会によるまちづくり構想策定・提案	阪急長岡天神駅周辺整備基本計画の策定			
	実績	まちづくり協議会にてまちづくり基本構想の策定に向けた中間とりまとめが作成された。	まちづくり協議会によるまちづくり構想策定・提案	阪急長岡天神駅周辺整備基本計画の策定			

指標	阪急長岡天神駅周辺土地区画整理事業の都市計画変更案の策定					単位	—
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	1	2	
平成31年度新規事業	目標				土地区画整理事業の基本調査	土地区画整理事業の調査・設計、都市計画変更案の策定	
	実績				土地区画整理事業の基本調査		

・地域住民との合意形成を図りつつ、地域の現状課題の整理や事業の必要性について検討しました。住民合意形成にあたっては、報告会及び意見交換会３回とアンケート調査を行いました。
・長岡天神駅周辺まちづくり協議会の運営支援として、検討会議を開催するとともに先進地視察を行いました。

住民との意見交換会

施策の「5年後の目標」に対する評価

令和元年度の達成状況

C（評価）

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	鉄道三駅乗降客数	・西山天王山駅の乗降客数が継続して増加しています。 ・三駅の乗降客数は前年度に比べ微増傾向にあります。	204

達成度合	達成状況
A：目標を達成又は上回って達成できた（目標の100%以上）	・事業計画案の策定に向けて、基本調査や住民意見を踏まえて、これから具体的に整備手法の検討を進めていく「重点整備地区」を設定することができました。 ・長岡天神駅周辺まちづくり協議会では、調査方法や地域住民との合意形成の進め方について具体的な検討を行っていただきました。

課題等

・阪急鉄道の連続立体交差事業（京都府）が長岡天神駅周辺整備に大きく関係してくるため、密接に連携して進めていく必要があります。

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	対応策等
1：計画通りに進めることが適当	・設定した「重点整備地区」の具体的な整備手法を検討し、地域住民との合意形成や連続立体交差事業（京都府）との調整を図りつつ、事業計画案を策定します。

分野	41	市街地	通番 82
施策	411	中心市街地整備の推進	
5年後の目標		歩きやすく、にぎわいのあるコンパクトなまちを目指し、阪急長岡天神駅周辺の将来ビジョンと計画が作成されている。	

概要

	実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
		会計	款	項	目		
P（概要）	長岡京駅前線整備事業	一般	8	4	2	12,493,675	まちづくり政策室

事業の概要

現在施行中の第3工区（111m）については、引き続き事業の進捗を図ります。また、次期整備工区の第4工区については、関係機関と協議を行い、事業推進に努めます。

令和元年度の取組

D（取組）	指標	長岡京駅前線第3工区・第4工区の事業進捗					単位	—
	現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	1	2	
	第3工区の用地買収率45.0%（平成27年度）	目標	第3工区用地買収率100%	第3工区工事着手	第4工区の用地買収率10%	第3工区工事完了 第4工区の用地買収率30%	第4工区の用地買収率80%	
		実績	第3工区用地買収率99%	第3工区用地買収率100% 第3工区工事着手 第4工区の事業認可	第4工区の用地買収率0%	第3工区工事進捗率80% 第4工区の用地買収率0%		

・第３工区（延長111m）は、電線共同溝の整備に伴い電線事業者等と調整を行いながら整備を進めました。また道路照明をはじめとする道路施設等の整備工事を実施しました。
・第４工区（延長223m）は、用地買収に伴う物件調査、また境界明示に伴う地権者への確認、同意及び用地補償に伴う物件調査を実施しました。

長岡京駅前線第４工区

施策の「5年後の目標」に対する評価

令和元年度の達成状況

C（評価）		関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	評価指標	市街歩行者数（アゼリア通り、天神通り）	平成22年度には、若者の自動車離れ、環境や健康志向の浸透に伴い歩行者数に増加が見られたが、西山天王山駅の開業を受け、長岡天神駅から西山天王山駅へ利用者が遷移するとともに、歩行者数が減少傾向にあります。	205
	達成度合	B：目標をほぼ達成できた（目標の80%～100%程度）	達成状況：・第３工区整備工事の実施に伴い、電線共同溝の入線にかかる参画事業者間の工事調整に時間を要したため、工事進捗に遅れが生じました。 ・第４工区の用地について、対象者の移転先等の協議に時間を要しました。	
	課題等	・被補償者が移転に伴い代替地等へ移転することとなりますが、代替地や移転先の選定等はその被補償者の今後の生活再建に関わってくることとなるため、慎重に対応する必要があります。このことが用地買収の対応に時間を要する課題となります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）	方向性	対応策等
	1：計画通りに進めることが適当	・用地買収を実施していくにあたり、地権者への代替地等の情報収集・提供を行います。 ・今後事業展開が見込まれている、阪急長岡天神駅周辺整備事業との連携を図りながら、中心市街地の整備推進を行います。

分野	41	市街地	通番 83
施策	411	中心市街地整備の推進	
5年後の目標		歩きやすく、にぎわいのあるコンパクトなまちを目指し、阪急長岡天神駅周辺の将来ビジョンと計画が作成されている。	

概要

P（概要）

実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
	会計	款	項	目		
JR長岡京駅関連整備事業	一般	8	2	2	9,884,386	**道路・河川課**

事業の概要

駅利用者の市民や乗降客に安全・快適に利用していただくため、老朽化した駅前広場のリニューアル工事の実施に向けた検討を進め、エスカレーター改修工事に着手します。

令和元年度の取組

D（取組）

指標	JR長岡京駅の関連施設整備事業の推進					単位	—
現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	1	2	
昭和61年に東西エスカレーター設置	目標	東口エスカレーター工事実施	西口エスカレーター工事実施	長岡京駅駅前広場再整備工事の実施に向けた検討	長岡京駅駅前広場再整備工事の実施に向けた検討	長岡京駅駅前広場再整備工事の実施に向けた検討	
	実績	東口エスカレーター工事実施	西口エスカレーター工事契約締結	・西口エスカレーター工事完成 ・基本計画実施協議	長岡京駅駅前広場再整備工事の基本設計実施		

・平成30度に策定したＪＲ長岡京駅駅前広場基本計画（東口）に基づき、公安（警察）と交通政策課において駅利用者の安全性と快適性について協議を進めながら、基本設計を進めました。

JR長岡京駅東口駅前広場（現況）

施策の「5年後の目標」に対する評価

C（評価）

令和元年度の達成状況

評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	—	—	—

達成度合	B：目標をほぼ達成できた（目標の80%～100%程度）	達成状況	・現状における課題に対応し、安全面や地域ニーズに適応した再整備を図るため基本設計を進めていましたが、歩行者と自転車が複雑に交差するなどの課題を解消するための公安協議に時間を要したため、繰越し事業となり、令和２年６月末に完成予定です。
課題等	・駅前広場東口の課題である通勤時間帯における、交錯する歩行者や車両の分離通行等について、安全性や快適性を再検討できたが、引続き市民の交流や、憩いの場所としての環境空間の検討が必要です。		

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）

方向性	
1：計画通りに進めることが適当	・環境空間については、西口駅前広場のにぎわいを東口へつなげる意味で、にぎわいスペースをどのように活用するか、駅利用者や地元住民及び地元企業の意見を反映しながら検討します。 ・駅前広場東口整備工事を実施するにあたり、特定財源として社会資本整備総合交付金を活用するため、令和２年度に詳細設計を行い、令和３年度には駅前広場を供用しながら工事を着手します。

分野	41	市街地	通番 84
施策	411	中心市街地整備の推進	
5年後の目標		歩きやすく、にぎわいのあるコンパクトなまちを目指し、阪急長岡天神駅周辺の将来ビジョンと計画が作成されている。	

概要

P（概要）	実施計画名称（予算事業名称）	予算科目				決算額（円）	担当課
		会計	款	項	目		
	市庁舎建替及び周辺整備事業	一般	2	1	5	233,766,523	公共施設再編推進室

事業の概要

現行敷地と開田保育所跡地を活用し、防災やバリアフリーの機能を備えた市庁舎の建替整備を推進します。併せて、周辺整備を行います。

令和元年度の取組

D（取組）	指標	新庁舎建設における事業の進捗状況				単位	—
	現　状（計画策定時）	年度	28	29	30	1	2
	庁舎検討部会で協議（庁内組織）（平成26年度）	目標	新庁舎建設基本構想の策定	新庁舎建設基本計画・基本設計の検討	新庁舎建設基本設計	新庁舎建設実施設計	新庁舎建設工事着手
		実績	長岡京市庁舎等再整備基本構想（案）の作成	長岡京市庁舎等再整備基本構想及び長岡京市庁舎等再整備基本計画の策定	長岡京市庁舎等再整備基本設計の策定	長岡京市新庁舎等建設工事実施設計の策定	

・平成30年度に策定した長岡京市庁舎等再整備基本設計に基づき、実施設計の完成に向けて議論を行いました。
・事前工事として、書庫棟の移転解体、旧開田保育所跡地に公用車用駐車場の整備、旧正面駐車場の解体撤去等を行いました。また、事前工事着手前に、周辺住民を対象に工事説明会を実施しました。
・事前工事後、旧正面駐車場等の埋蔵文化財調査に着手しました。
・事前工事や埋蔵文化財調査期間中、来庁者の安全確保及び、分かりやすい動線の案内掲示を行いました。

新庁舎イメージ図

施策の「5年後の目標」に対する評価

令和元年度の達成状況

C（評価）				
評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	—		—	—
達成度合	A：目標を達成又は上回って達成できた（目標の100%以上）	達成状況	長岡京市新庁舎等建設工事実施設計を作成し、工事施工に向けた図面詳細等を完成させました。	
課題等	・令和２年度は、新庁舎建設の施工業者を選定し、工事着工を予定しています。実績のある技術力の高い事業者を選定できるよう、入札の方法や条件設定を精査する必要があります。 ・施工業者との契約後は、周辺住民を対象とする説明会の実施や、工事スケジュールや来庁者に対して動線の案内など、情報提供や安全確保に努める必要があります。			

目標達成に向けての次年度以降の対応

A（行動）	方向性	対応策等
	1：計画通りに進めることが適当	・施工業者との契約後、定期的な打合せ等を通じ、工事を安全かつ円滑に進めます。 ・工事のスケジュールや内容、また来庁時の動線変更等について、広報紙やホームページの活用及び、周辺住民を対象とする説明会を実施し、周知を徹底します。 ・新庁舎において市民サービスの向上や業務効率の改善等につながる機能導入について、庁内関係各課と協議を行います。